

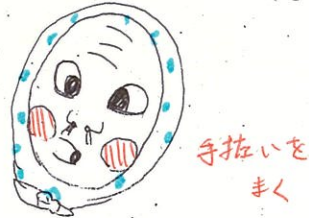
種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(郷土の踊り)(現和)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

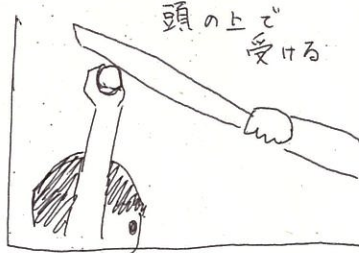
※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

へこ踊り(ひょっこ踊り) トンキョッキョ → 掛け声が「トントンキョッキョ」
 現和の西保の踊り。ひょっこのお面を被り着物を着て踊る。



棒踊り(田え脇)

現和の田え脇の棒を使って踊る踊り。声を掛けながら棒でたたいたり棒を受けたりする。現和小学校の運動会でも生徒がよく踊っている。



(左司浦)ヨンシー踊り

現和の左司浦の踊りで「しび」という名の木を担いで天狗の面に似た赤いお面を被り右手には棒を持っている。ハツツィ・バンショガネ・メシビツ・メシガー・キリヨキ・スゴという踊る役12に名があります。

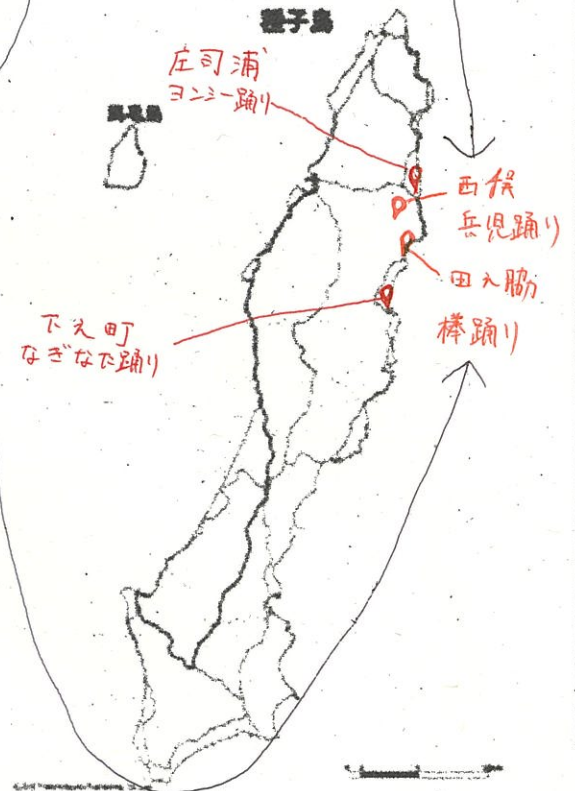
なぎなた踊り(下え町)

このなぎなた踊りは原氏と平氏の争いの中、「おやぶ」という娘が弓矢で討たれた父親の仇を討つため、京都の清水寺にこもって修業し、見事に仇を討ち、たくさんの人々から供応を受け、丹波の国へ帰るといふ筋書きがあります。右手になぎなたを持った娘が入場し、左手に刀を持った武士が入場してきます。「アーヒーヤーア」という掛け声をして時折哀愁も感じられる踊りです。そして最後に武士から退場してその後に娘が退場して終わりです。



兵児踊りは昔西保に標着した人々がもてなしてくれたお礼として教えてくれた踊りだそうです。

山川から兵え田地域に移住してきた松木甚助氏によって、山川にあった踊りが伝わり、その兵え田地域とつながりのあった田え脇地域に伝わったといわれています。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

Youtube akameeba

ふるさと西之表市 (furusato-tanegashima.net/ky-geinou/yonsi-odori.html)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。